

事業所名 グループホーム町屋
運 営 推 進 会 議 開 催 報 告 書

開催日時 2023年 10月 24日(火)	
参 加 者	議 題
利用者 0名	① 行事報告(1号館)
利用者家族 0名	② 行事報告(2号館)
地域住民の代表者 0名	③ 行事予定
市職員 1名	④ 身体拘束適正化検討委員会
地域包括支援センター職員 0名	⑤ 質疑応答
事業所 2名	⑥ 次回開催日
会 議 録	
<p>①行事報告(1号館)</p> <p>・9月16日 敬老会 昼食時に敬老会として、瀬戸焼きそば、お好み焼き、赤飯のおにぎりを提供させて頂きました。敬老会では、利用者様にも、食材を切ったりしてもらい調理を進めました。今回は、夏祭りを8月に当初行う予定でしたが、中止となってしまいました。利用者様方に、夏祭りの雰囲気だけでも味合ってもらいたく、今回のメニューにしました。また、おやつ時には、「敬老の日」のメッセージカードをプレゼントさせて頂きました。皆様とても楽しそうにお過ごし頂く事が出来ました。</p> <p>・9月26日 避難訓練 今年度2回目の避難訓練を夜間想定にて行いました。避難訓練の概要と致しましては、夜間の2時頃、地震災害が起き、奥の洗面台のコンセントから出火したと想定をしました。職員1名で、消火器を使用した模擬消火訓練、火災通報装置にて、消防署に実通報訓練、建物内から、玄関外へ避難訓練を行いました。避難時間は訓練開始より、17分14秒にて全利用者様が屋外へ避難出来ました。今回も、事故などもなく無事に訓練が終了出来ました。</p> <p>・9月30日 誕生日会 おやつ時に9月生まれの方2名の誕生日会を行いました。ロールケーキ、どら焼きなどでバースデープレートを提供させて頂きました。誕生日の方達も利用者様とお話をされ楽しそうにお過ごし頂く事が出来ました。</p> <p>・10月11日 誕生日会 誕生日の方とファミリーレストランへ外出しました。誕生日の方も、たくさんお話をし頂き終始楽しそうな様子でした。</p>	

・10月13日 秋の味覚祭 きのご飯、バーベキューコンロにてさばの塩焼きを焼き、提供させて頂きました。皆様、とても美味しそうにお召し上がり頂きました。

②行事報告（2号館）

・9月21日 敬老会 昼食時に敬老会として、お弁当を提供させて頂きました。また、おやつ時には、たい焼きを提供させて頂き、「敬老の日」のメッセージカードをプレゼントさせて頂きました。皆様とても楽しそうにお過ごし頂く事が出来ました。

・9月24日 避難訓練 今年度2回目の避難訓練を夜間想定にて行いました。避難訓練の概要と致しましては、夜間の2時頃、地震災害が起き、奥の洗面台のコンセントから出火したと想定をしました。職員1名で、消火器を使用した模擬消火訓練、火災通報装置にて、消防署に実通報訓練、建物内から、東屋へ避難訓練を行いました。避難時間は訓練開始より、15分33秒にて全利用者様が屋外へ避難出来ました。今回も、事故などもなく無事に訓練が終了出来ました。

・9月24日 誕生日会 おやつ時に誕生日会を行いました。どら焼き、チョコケーキなどでバースデープレートを提供させて頂きました。誕生日の方も楽しそうにお過ごし頂く事が出来ました。

・10月13日 秋の味覚祭 きのご飯、バーベキューコンロにてさばの塩焼きを焼き、提供させて頂きました。皆様、とても美味しそうにお召し上がり頂きました。

③行事予定

- ・11月 紅葉狩り
- ・12月 クリスマス会

④身体拘束適正化検討委員会

別紙参照

◆まとめ

今回は、『緊急やむを得ない対応はどうすればいいか』をテーマにさせて頂きました。緊急やむを得ない対応時とは、「切迫性」、「非代替性」、「一時性」の3つの条件を満たし、かつ、それらの要件の確認等の手続きが極めて慎重に実施されているケースに限られる時に限り身体拘束が可能であると記載してありますが、当事業所では開設当初から身体拘束を行っていません。今後も身体拘束を行うことはありません。緊急やむを得ない場合でも、身体拘束をせず「チームケア」にて緊急やむを得ない状況にまずならない様に、日頃の些細な変化に気づき事前に対応していくことが大切だと思います。こちらからも、ご利用者様が落ち着いてお過ごし頂け、ご家族様にも安心して頂ける施設を目指していきます。

⑤質疑応答

瀬戸市役所 高齢者福祉課様

- 避難訓練を1号館と2号館を分けて行う理由は何ですか？
→避難訓練は、毎回施設ごとに別日に行っています。理由として、事前に計画を立てて、人員を配置して、訓練を行うためです。
- 利用者様に変化はありますか？
→特にありません。皆様、お変わりはなくお過ごしになられています。
- 身体拘束を行う前提がないという考え方やそれを実践していることが素晴らしいと思いました。
→グループホームは少人数のため身体拘束をやらないための対策が立てやすい。その反対に大規模施設の方が身体拘束ゼロは難しいのではと思います。
→身体拘束を行うには様々な手順（カンファレンスや計画書の作成、ご家族様の説明など）を踏むことの方が手間が掛かるため、身体拘束をやらない考えをした方が良いし早いと考えます。

⑥次回開催日

2023年12月19日（火） 14：00～

